

農地整備事業地区の概要

- 事業名：農業競争力強化農地整備事業
- 地区名：津久毛地区
- 受益面積：A=365.7ha
- 総事業費：7,259百万円
- 工期：R1～R8
- 農家戸数：329戸
- 関係市町村：栗原市
- 土地改良区：迫川上流土地改良区
- 導入作物予定：水稻、大豆、ばれいしょ等
- 地区の特徴・PRポイント

・地区内の法人を中心に、既に大規模な土地利用型農業が展開されており、当事業を契機に作付け拡大を図るほか、高収益作物の栽培も取り組む。また流域治水対策として、地区全体で田んぼダムの導入を行う。

県内位置図

○位置 くりはらしかなり 宮城県栗原市金成



作付け計画・実績

【作付け計画(TPP計画)】

- ばれいしょ A=5.0ha
- 秋冬ねぎ A=4.2ha
- ズッキーニ A=0.2ha

【作付け実績(R4)】

- ばれいしょ A=0.7ha (地区外含む)

【作付け計画(R5)】

- ばれいしょ A=約1.0ha (地区外含む)
- たまねぎ A=0.4ha

取り組み内容

【担い手の状況】

・当地区の担い手は、個別14名、法人3組織。
 ・高収益作物の取組は、2法人、1個別担い手が中心となって取り組みを開始している。

【課題とその対応状況】

・大規模面積での取組を目標として、担い手、関係機関よる話し合いを重ね、令和5年度から、試験ほ場(A=4.6ha)を活用した、試験栽培を開始予定。
 ・試験栽培にあたっては、ソフト事業(農地耕作条件改善事業(高収益作物型))を活用。

【今後の展開方向】

・他の担い手も巻き込みながら、規模拡大を図る。

地区位置図・実践エリア



▼ばれいしょ播種 R5.5撮影



▼ばれいしょ生育状況 R5.6撮影



▼ばれいしょ収穫状況 R5.8撮影

